

# 教員養成におけるスポーツ危機管理の在り方に関する研究

半田勝久 (教育福祉系)   上田幸夫 (教育福祉系)   大塚幹太 (身体教育系)   関芽 (教育福祉系)

## 1. 研究プロジェクトテーマ

「教員養成におけるスポーツ危機管理の在り方に関する研究」

## 2. 研究内容

### (1) 研究内容の検討

本研究プロジェクトテーマを進めていくにあたり、まずは、学校現場におけるスポーツ危機管理に関する本学学生の意識について調査することとした。

### (2) 研究方法

パイロット調査として、日体教学舎\*の学生を対象として、『学校現場におけるスポーツ危機管理』と聞いて、思い当たるキーワードを書いてください。』と自由記述アンケート(カード化できる書式で)を実施した。

## 3. パイロット調査の結果

パイロット調査について、KJ法を用い、カードを分類し、そこから見えてきた本学学生のスポーツ危機管理における意識の構造化を試みた(図1)。

調査結果から、スポーツ危機管理に関して、大項目として「マネージメント・組織運営」、基本概念として「倫理・人権・フェアプレイ」、環境要因として「自然環境、人的環境、物的環境」、教育課程として「教科、特別活動」及び「部活動」、教育課題や健康課題として「いじめ・ハラスメント、体調管理・けが」、それらの管理問題として「重大事故」が、学生の意識から構造化できた。

基本概念としての「倫理・人権・フェアプレイ」、教育課程の「特別活動」に関しては、他の項目より回答は少なかった。

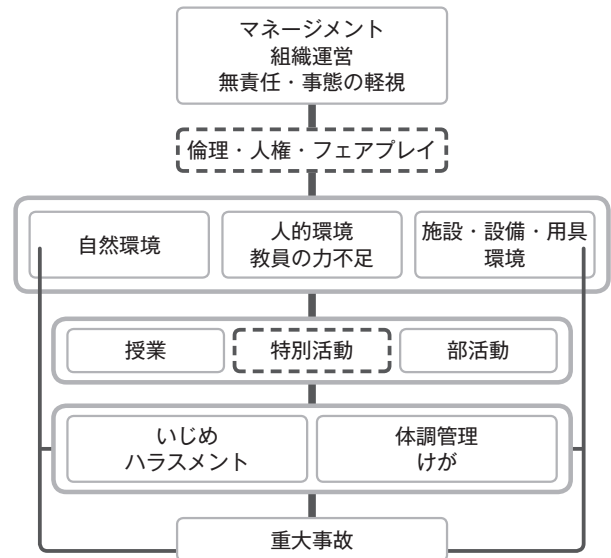


図1 学校におけるスポーツ危機管理意識構造図(学生アンケートの結果より)

## 4. 研究課題

### (1) スポーツ危機管理に関する学生の意識や意識の変化を調査・分析する。

- ・パイロット調査をもとに、調査項目を精査し、サンプル数を増やし調査を実施する。
- ・基本概念としての「倫理・人権・フェアプレイ」について、学生の意識を浮かび上がらせるような調査を実施する。

### (2) なぜこうした意識が形成されてきたのか、本学の教育内容から検討する。

- ・教員養成におけるスポーツ危機管理や安全教育の内容を概観する。
- ・教科及び教科の指導法に関する科目(体育科実践法、保健科実践法他)や教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)に関する科目などについて、シラバスから分析する。
- ・本学の教員養成課程におけるスポーツ危機管理に関する講義内容や実習等について調査する。 他

## 5. 調査項目の検討

今後、基本概念としての「倫理・人権・フェアプレイ」について、具体的な「ハラスメント」「体罰」「暴言」に関連させるような調査項目を検討していく。

- ・大学において「スポーツ危機管理」「学校安全」「倫理・人権・フェアプレイ」について学んだ授業、実習、講座はどのようなものがあったか。
- ・教員養成課程において、「倫理・人権・フェアプレイ」に関してどういった学びが必要だと考えるか。
- ・大学の授業及び部活動・サークルにおいて、先生やコーチからどんなことや言葉がけをされていたか。 他

\*日体教学舎：本学において設置されている、小学校教諭、中・高等学校保健体育科教諭、養護教諭、特別支援学校教諭を目指す者が集い、互いに切磋琢磨し、学び合う場。

### 参考文献

- ・熊丸真太郎「教員養成段階での学校安全・危機管理に関する教育—国立大学教員養成課程のシラバス分析から—」島根大学教職大学院紀要『学校教育実践研究』第1巻、2018年
- ・文部科学省『学校の危機管理マニュアル 作成の手引』2018年
- ・根岸千悠「国立大学教員養成学部における学校安全に関する教育の取り組み状況について」社会とつながる学校教育に関する研究(2)千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告書、2014年
- ・戸田芳雄、佐藤喜代、早瀬健介、榎本竜二、小野田桂子、玉置正彦「教員養成課程の学生及び現職教員の学校安全への意識及びニーズ」東京女子体育大学『女子体育研究所所報』8号、2014年
- ・渡邊正樹 編著『学校安全と危機管理 改訂版』大修館書店、2013年